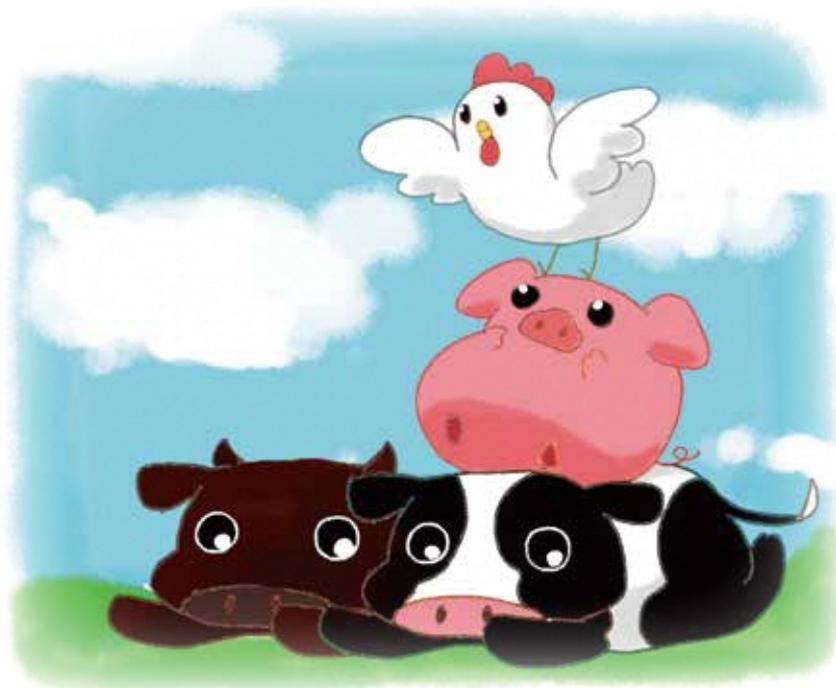


とやまの畜産 2025



目次

I 畜産の現状	1
1 畜産の概要	1
2 酪農	2
3 肉用牛	3
4 養豚	4
5 採卵鶏	5
6 養蜂	5
II 草地と飼料	6
III 畜産環境保全	7
IV 家畜衛生	7
V 県内の消費動向	8
VI 組織	9



I 畜産の現状

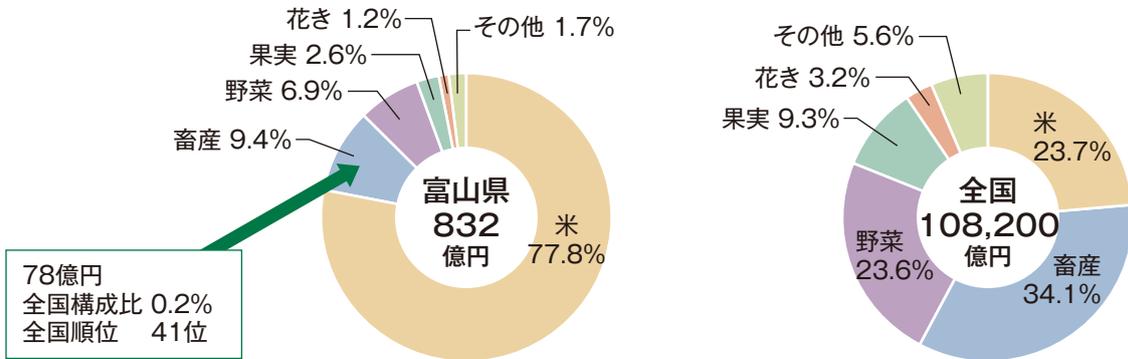
1 畜産の概要

(1) 全国的に見た富山県畜産の現状(令和6年)

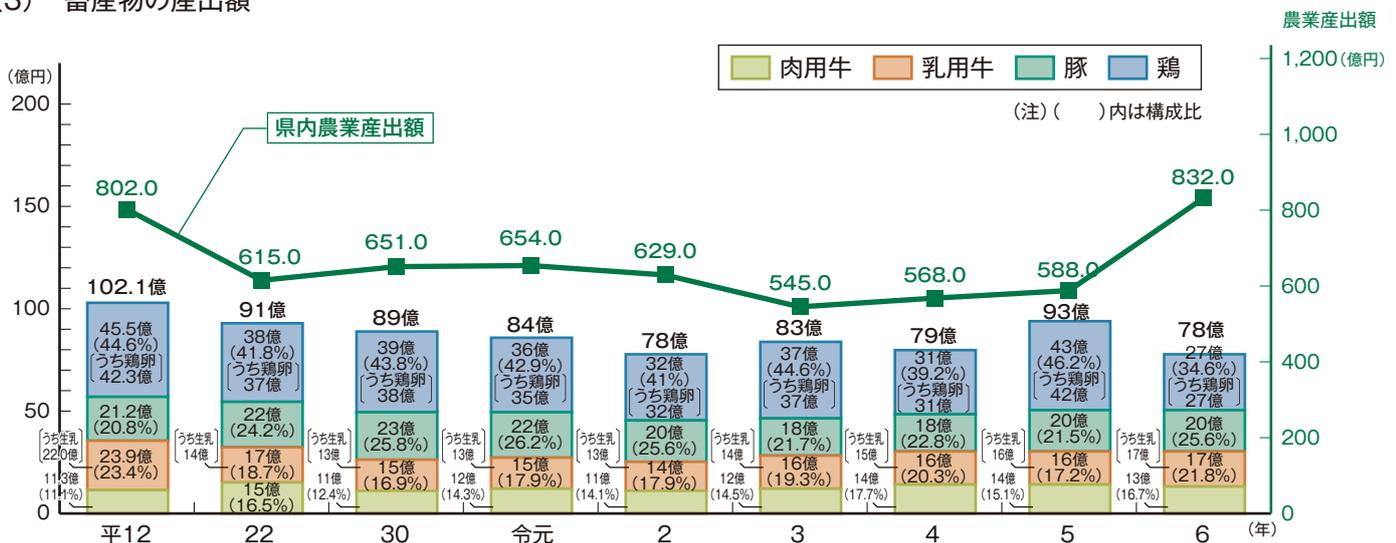
項目		単位	富山県	全国	富山県/全国	全国順位	参考富山県(R5)
乳用牛	飼養頭数	頭	2,170	1,313,000	0.17%	42	2,140
	飼養農家数	戸	31	11,900	0.26%	43	32
	1戸当たり飼養頭数	頭	70.0	110.3	0.63倍	25	66.9
	生乳生産量	トン	12,541	7,357,451	0.17%	42	12,350
肉用牛	飼養頭数	頭	3,860	2,672,000	0.14%	41	3,770
	飼養農家数	戸	32	36,500	0.09%	45	33
	1戸当たり飼養頭数	頭	120.6	73.2	1.65倍	11	114.2
	牛枝肉生産量	トン	569	506,306	0.11%	45	545.3
豚	飼養頭数	頭	19,700	8,798,000	0.22%	38	23,500
	飼養農家数	戸	12	3,130	0.38%	37	13
	1戸当たり飼養頭数	頭	1,641.7	2,810.9	0.58倍	30	1,807.7
	豚枝肉生産量	トン	7,093	1,287,231	0.55%	34	7,210.9
採卵鶏	飼養羽数	千羽	719	170,776	0.42%	35	836
	飼養農家数	戸	14	1,700	0.82%	38	15
	1戸当たり成鶏めす羽数	千羽	43.7	79.1	0.55倍	32	47.1
	鶏卵生産量	トン	10,694	2,480,663	0.43%	35	13,139

農林水産省「畜産統計調査」、「牛乳乳製品統計調査」、「畜産物流通統計調査」
採卵鶏の飼養羽数、飼養農家数、1戸当たり成鶏めす羽数は、1,000羽以上飼養農家分

(2) 農業産出額に占める畜産の割合(令和6年)



(3) 畜産物の産出額



農林水産省「生産農業所得統計」
※端数処理のため、計と内訳の数字は一致しない場合がある。

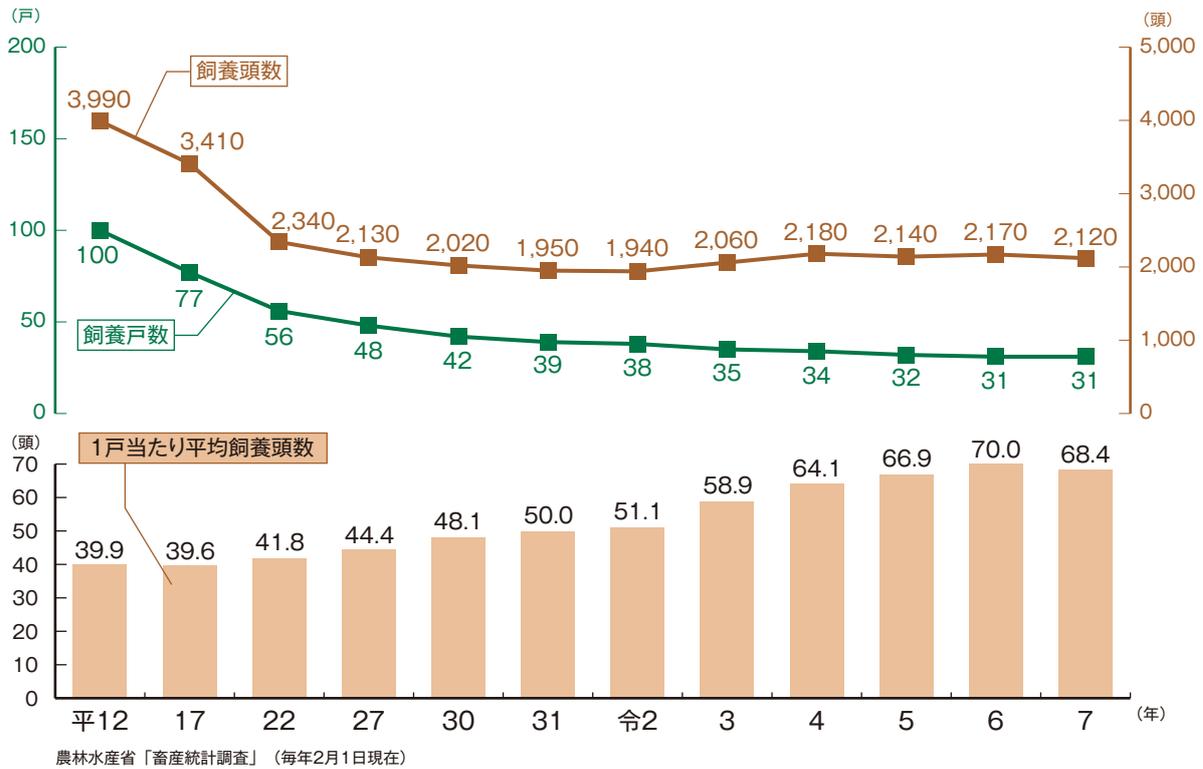
I 畜産の現状

2 酪農

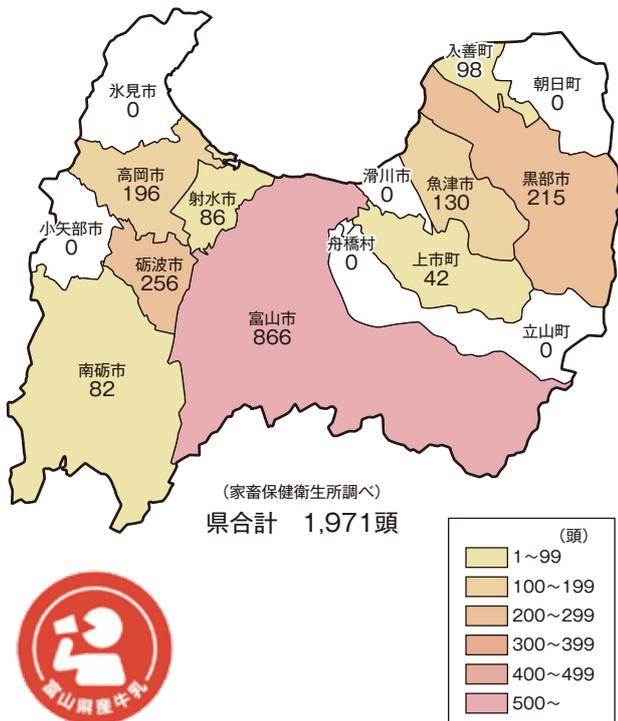
1. 近年の動向

飼養頭数及び飼養戸数は、いずれもほぼ横ばいで推移している。一戸当たりの平均飼養頭数は、これまで増加傾向がみられたものの、令和7年は68.4頭と前年よりわずかに減少した。（一戸当たりの平均飼養頭数の全国平均は114.4頭）

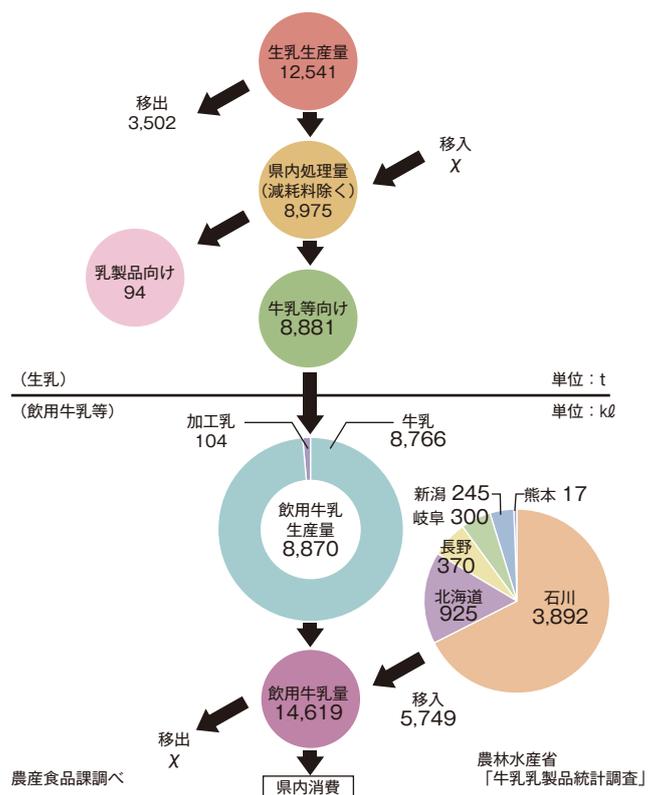
(1) 乳用牛の飼養



(2) 乳用牛の市町村別飼養分布 (令和7年2月1日現在)



(3) 生乳及び飲用牛乳等の流通 (令和6年)



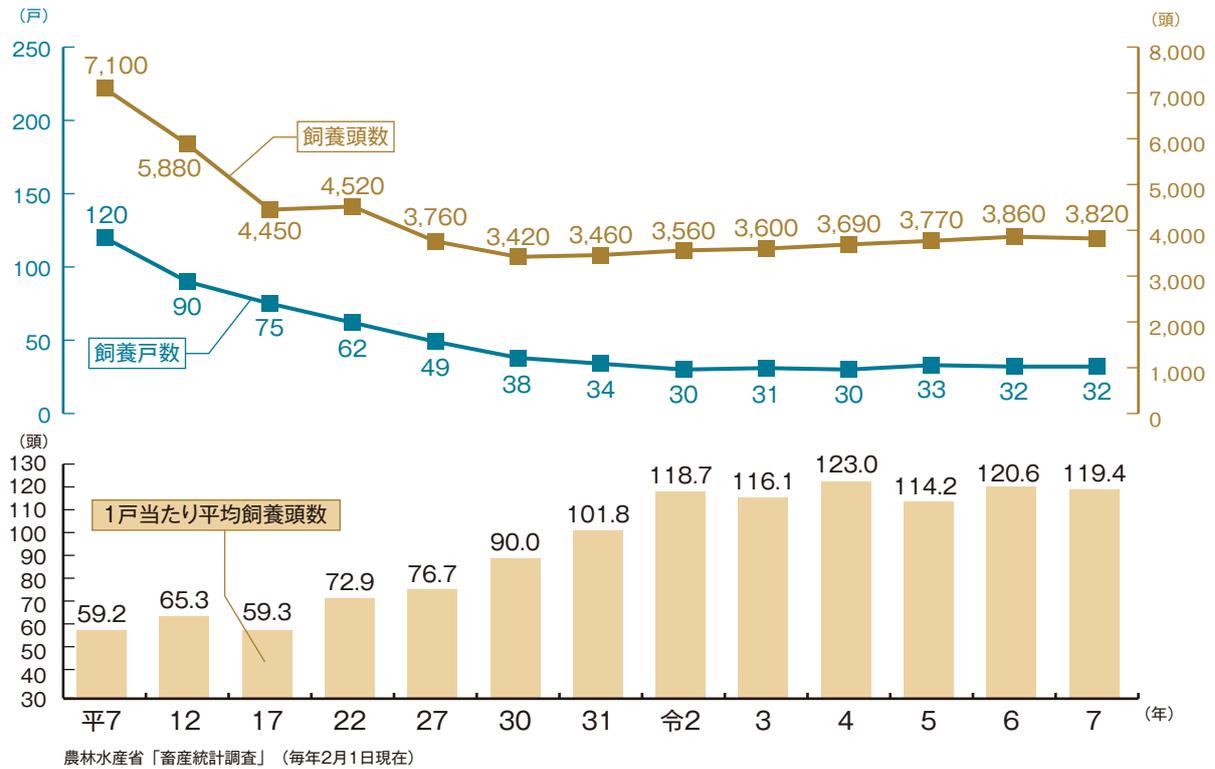
I 畜産の現状

3 肉用牛

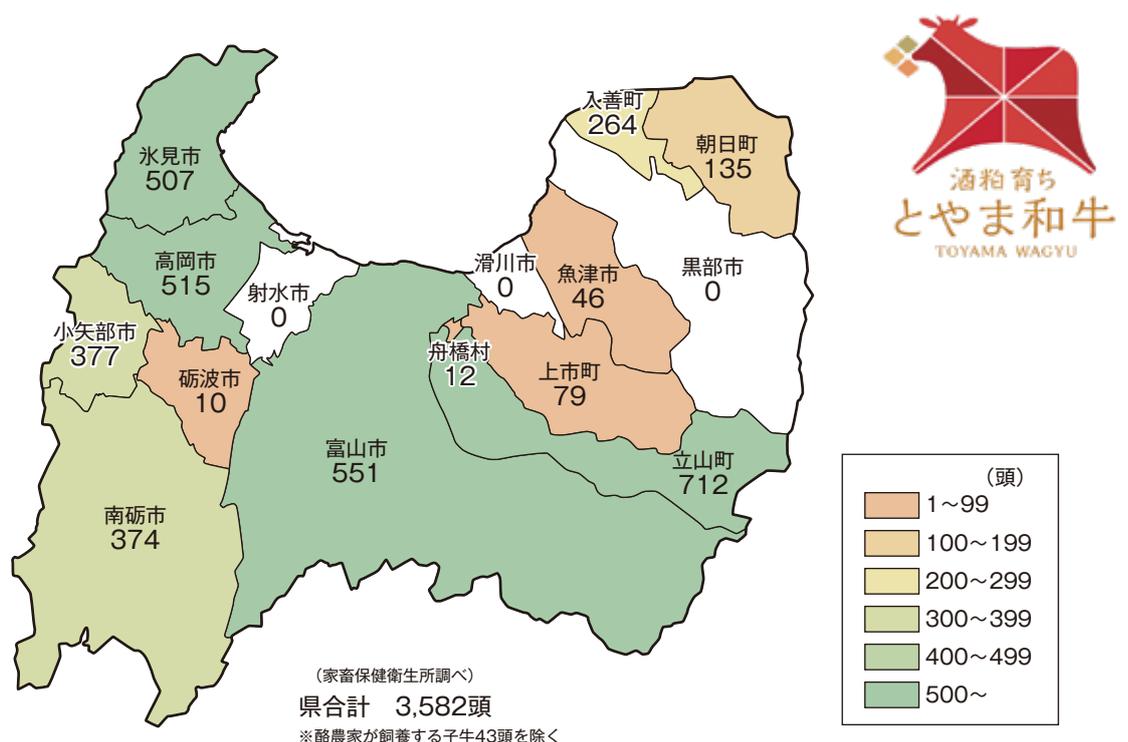
1. 近年の動向

飼養戸数は近年は横ばいで推移している。一戸当たり飼養頭数は令和4年に過去最大となり、令和7年は119.4頭(全国平均76.3頭)となった。

(1) 肉用牛の飼養



(2) 肉用牛の市町村別飼養分布(令和7年2月1日現在)



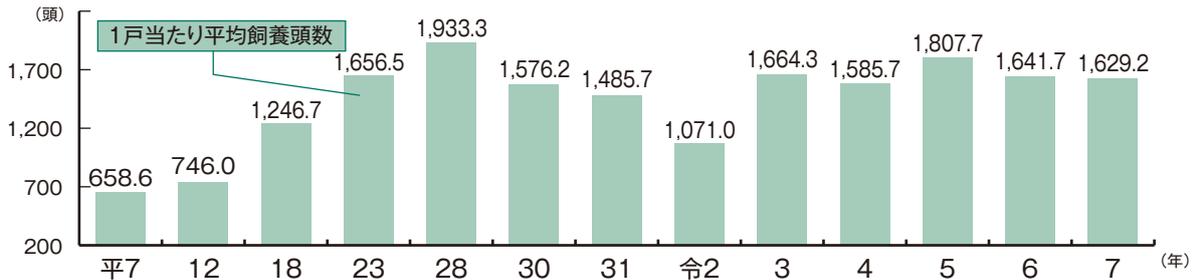
I 畜産の現状

4 養豚

1. 近年の動向

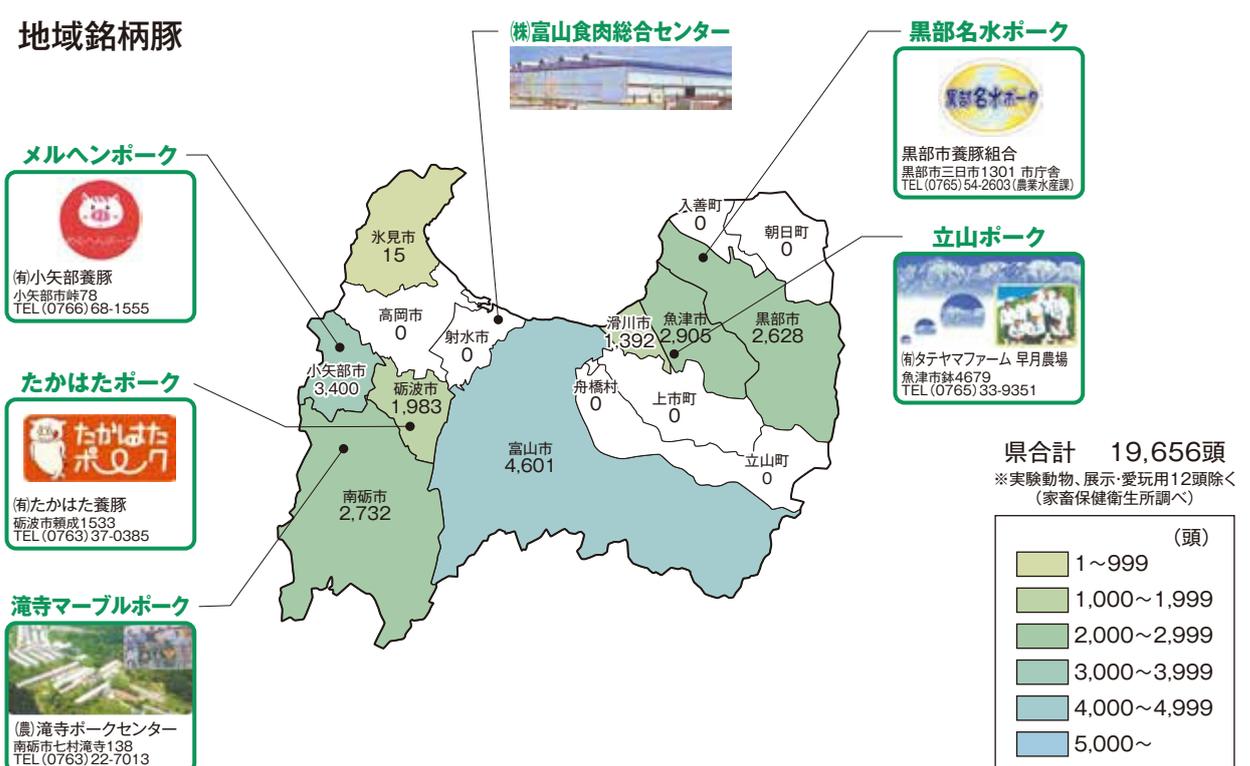
豚熱等の影響により、飼養戸数は令和3年に減少した。一戸当たり飼養頭数は平成28年に過去最大となった後、近年は横ばいで、令和7年は1,629.2頭(全国平均2,810.9頭)となった。

(1) 豚の飼養



農林水産省「畜産統計調査」(毎年2月1日現在)
 ※平成22年、27年、令和2年、7年の調査は、農林業センサスの実施に伴い休止。(令和2年、7年は農業技術課調べ)

(2) 豚の市町村別飼養分布(令和7年2月1日現在)



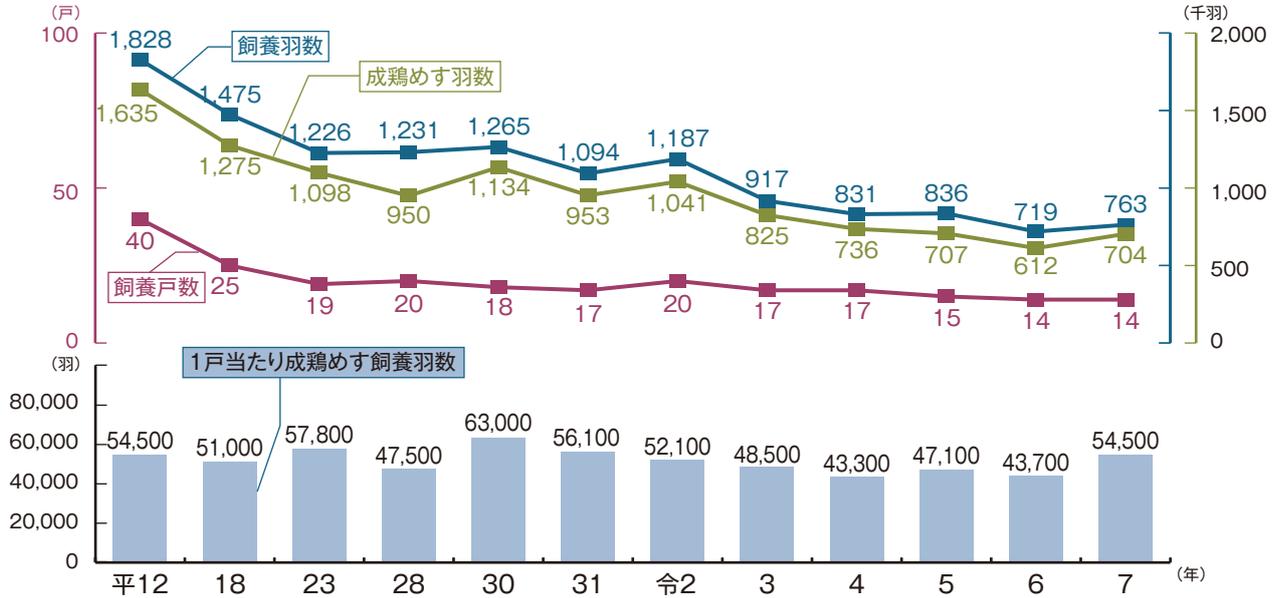
I 畜産の現状

5 採卵鶏

1. 近年の動向

高病原性インフルエンザの発生等により、令和3年以降は飼養羽数及び成鶏めす羽数ともに減少して推移していたが、令和7年は増加した。

(1) 鶏の飼養

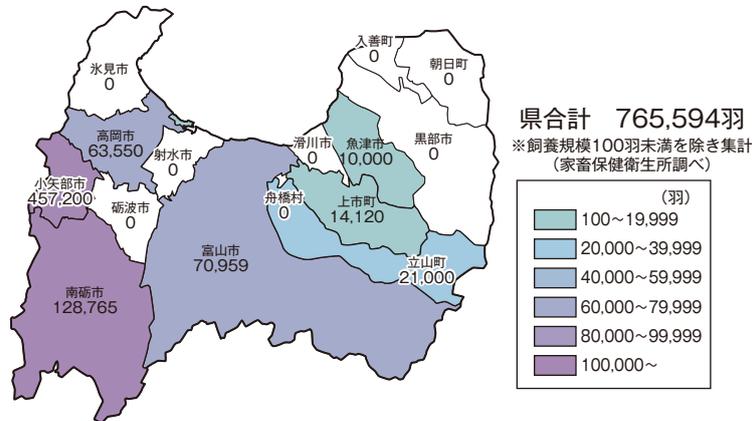


農林水産省「畜産統計調査」(毎年2月1日現在)

※平成3年以降は300羽以上、平成10年以降は1,000羽以上の成鶏めす飼養者を調査対象としている。

※平成22年、27年、令和2年、7年の調査は農林業センサスの実施に伴い休止。(令和2年、7年は農業技術課調べ)

(2) 採卵鶏の市町村別飼養分布(令和7年2月1日現在)

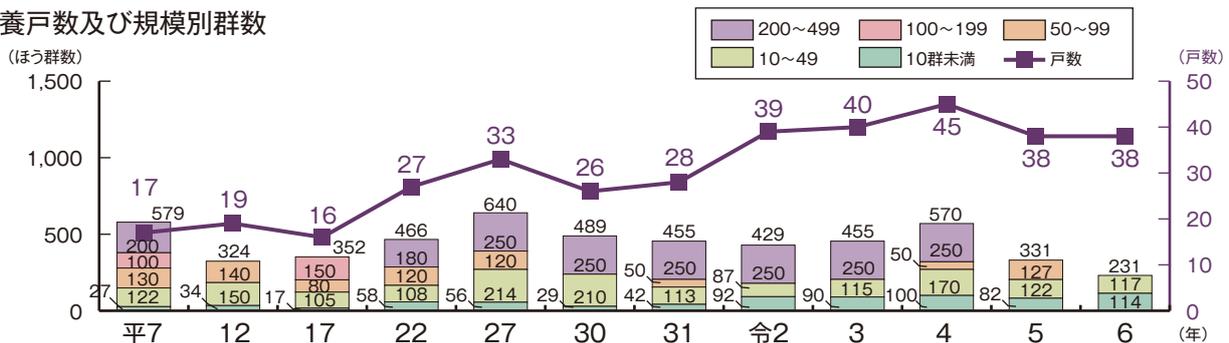


6 養蜂

1. 近年の動向

趣味養蜂家の増加に伴い、令和2年から飼養戸数が増加し飼養群数も増加傾向であったが、令和5年以降は大規模養蜂業者の県外移転により群数が減少した。

飼養戸数及び規模別群数



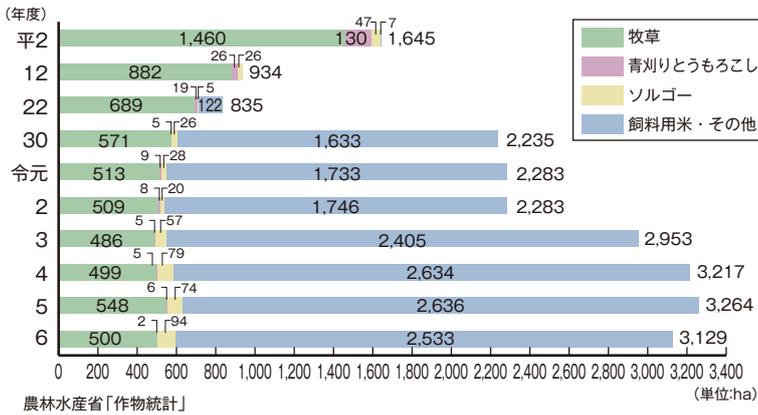
II 草地と飼料

1. 近年の動向

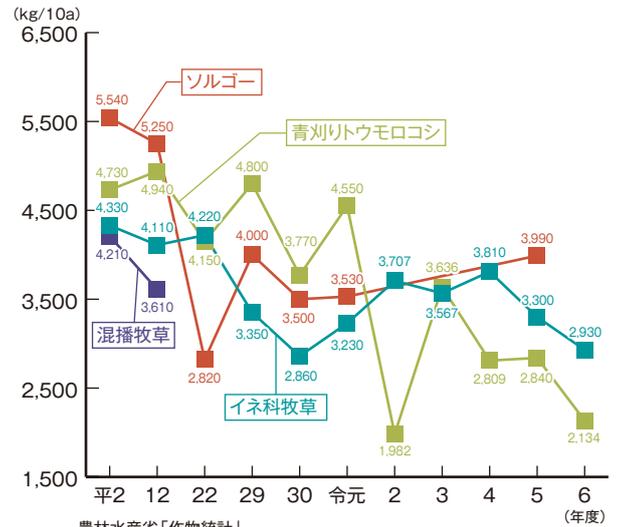
本県の飼料作物生産は、90%超を転作田に依存している。

飼料作物作付面積は、水田フル活用に向け、ソルゴー類などの高栄養長大作物の作付推進や二毛作の普及定着等により拡大に努めている。また、近年、稲発酵粗飼料及び飼料用米(その他飼料作物)の作付面積は、国の制度の見直しなどにより拡大し、作付は定着しつつある。

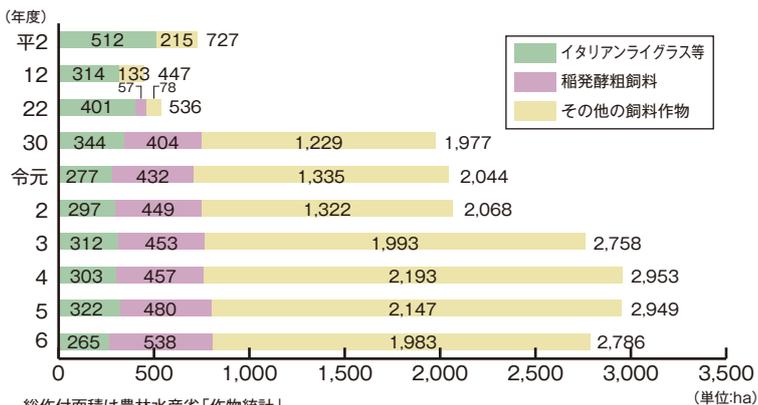
(1) 飼料作物の作付面積



(2) 飼料作物の収穫量

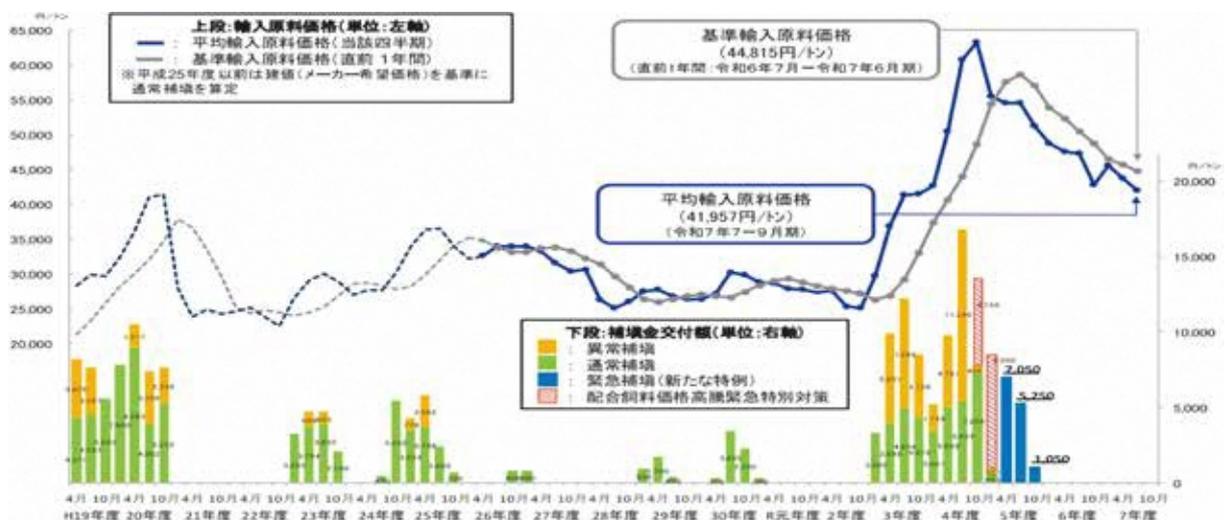


(3) 転作飼料作物の作付面積



WCS調整収穫専用機による収穫

(4) 輸入原料価格の推移と配合飼料価格安定制度の補填の実施状況



注1 輸入原料価格は、とうもろこし、とうもろこし、大豆油かす、大麦、小麦の6原料の平均価格。平成28年第3四半期までは、ふすまを含む原料の平均価格。
 注2 平成25年度以前の通常補填については現在と計算方式が異なるため、平均/基準輸入原料価格の差と通常補填の交付額が一致しない。
 注3 令和3年度第4四半期及び令和4年度第4四半期の異常補填は、平成26年に設けた「特別基準輸入原料価格」を用いて交付額を算出
 注4 令和6年度より、緊急補填による補填金交付(国:民間=2:3)を実施。
 注5 数値は速報値。

資料:財務省「貿易統計」、(公社)配合飼料供給安定機構「飼料月報」

III 畜産環境保全

家畜ふん尿の処理状況(令和6年12月1日現在)

畜種	家畜排せつ物(t)	堆肥化仕向(t)	堆肥化仕向(%)	浄化処理(%)	堆肥生産量(t)	経営内利用率(%)
乳用牛	33,546	33,546	100.0	0.0	20,702	60.1
肉用牛	20,979	20,979	100.0	0.0	15,511	30.6
豚	17,298	5,021	29.0	71.0	4,011	1.0
鶏	36,224	36,224	100.0	0.0	14,642	5.5
合計	108,047	95,770	88.6	11.4	54,866	33.1
共同処理堆肥生産量					17,307	



マニュアルスプレッダーによる堆肥の散布(氷見)



BSE検査

IV 家畜衛生

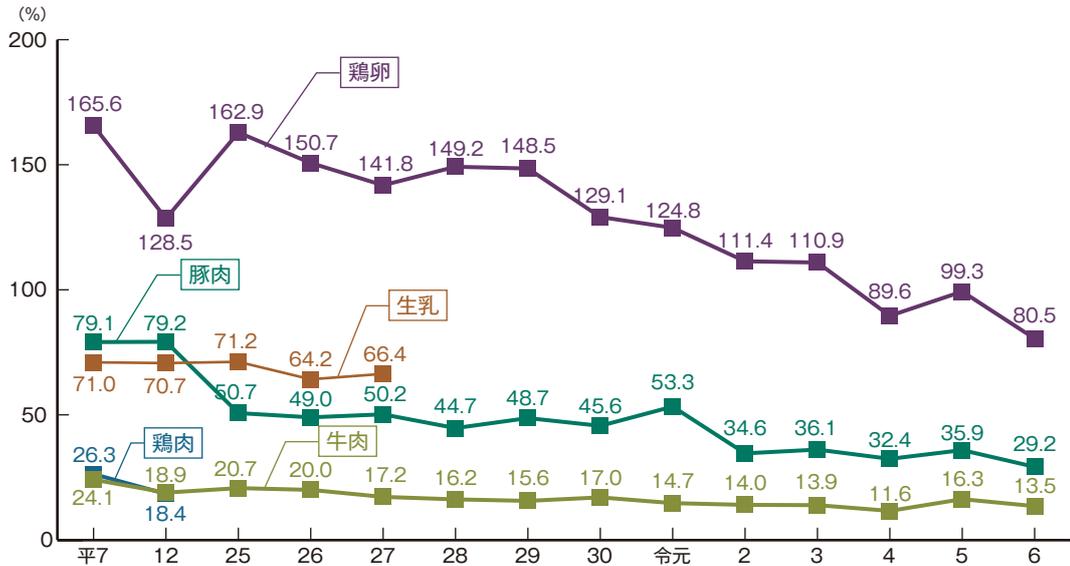
主な家畜伝染病等の検査状況(令和6年度)

(頭・羽・群)

検査	牛	豚	鶏	蜂	馬	めん山羊、野生動物等	
BSE検査	BSE 9					TSE 22	
細菌検査	サルモネラ 553	サルモネラ 354	サルモネラ 1,103	腐蛆病 134		サルモネラ 4	
	乳房炎 1,292	呼吸器病関連 3	大腸菌 10			乳房炎 16	
	大腸菌 144	大腸菌 11	クロストリジウム 5			大腸菌 10	
	呼吸器病関連 109	レンサ球菌 11					
	クロストリジウム 12	豚胸膜肺炎 1					
	レンサ球菌 17	豚増殖性腸炎 2					
	トウルベレラ・ピオゲネス 3	クロストリジウム 1					
	ブルセラ病 1	トウルベレラ・ピオゲネス 3					
ウイルス検査	下痢関連 7	豚熱 13	鳥インフルエンザ 420			鳥インフルエンザ 6	
	呼吸器病関連 1		鶏伝染性気管支炎 3				
抗体検査	ブルセラ病 7	豚繁殖・呼吸障害症候群 1,320	鳥インフルエンザ 650			豚熱 1,496	
	ヨーネ病 1,263	豚熱 1,637	ニューカッスル病 470				
	牛伝染性リンパ腫 1,322	オーエスキー病 754					
	アカバネ病 180						
PCR検査	牛ウイルス性下痢 1,485	豚熱 13	鶏脳脊髄炎 1			豚熱 1,447	
	牛ロタウイルス病 54	アフリカ豚熱 13	鶏伝染性気管支炎 3			アフリカ豚熱 1,447	
	牛コロナウイルス病 22	豚サーコウイルス感染症 245					
	牛伝染性リンパ腫 219	豚増殖性腸炎 3					
	牛トロウイルス病 22	バズツレラ 2					
	牛RSウイルス病 4	レンサ球菌 1					
	牛アデノウイルス病 4	豚胸膜肺炎 1					
	牛バラインフルエンザ 4	豚繁殖・呼吸障害症候群 249					
	大腸菌症 11	日本脳炎 8					
	黄色ブドウ球菌 4	豚バルボウイルス病 8					
	クロストリジウム 5						
	マイコプラズマ 19						
	マンヘミア 2						
	ヨーネ病 23						
	寄生虫検査	牛寄生虫病 85	豚寄生虫病 98	鶏寄生虫病 311			めん山羊寄生虫病 49
		ピロプラズマ病 67					
肝蛭 60							
その他	代謝病等 109	代謝病等 3	代謝病等 3			代謝病等 39	

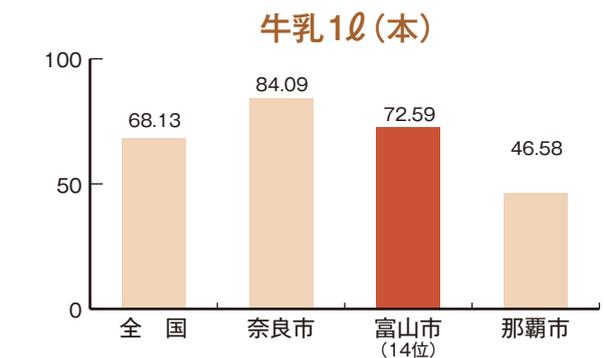
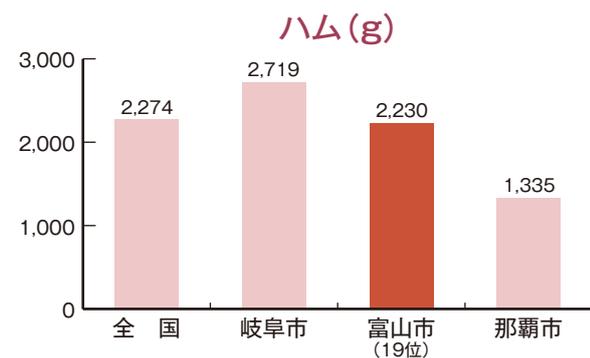
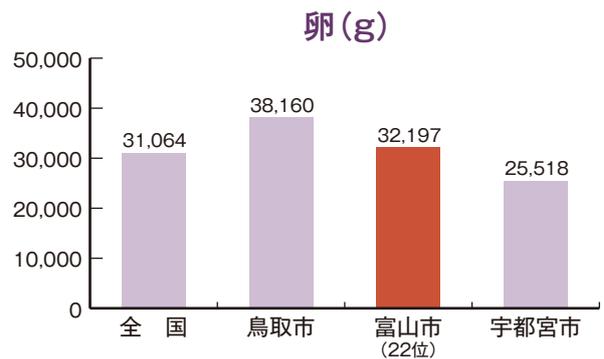
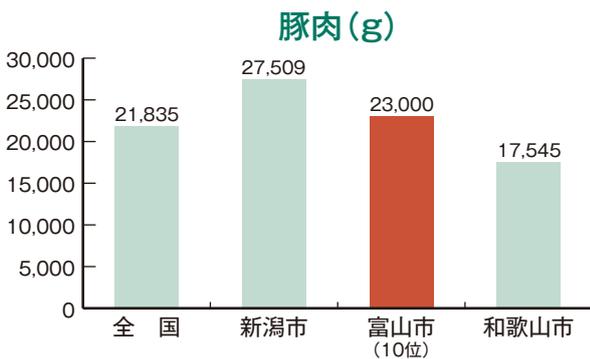
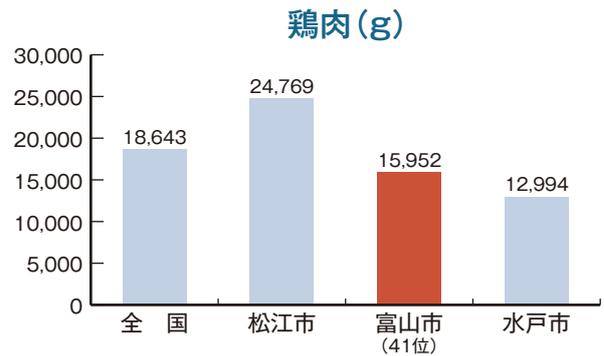
V 県内の消費動向

(1) 畜産物自給率の推移



農林水産省「牛乳乳製品統計調査」、「畜産物流通統計調査」、総務省統計局「家計調査」他
 (注) 生産量は出荷ベース、消費量は供給純食料や世帯当たり購入量に人口、世帯数を乗じた推計値。
 鶏肉は平成22年以降、生乳は28年より非公表又は調査を欠くため計算不能。

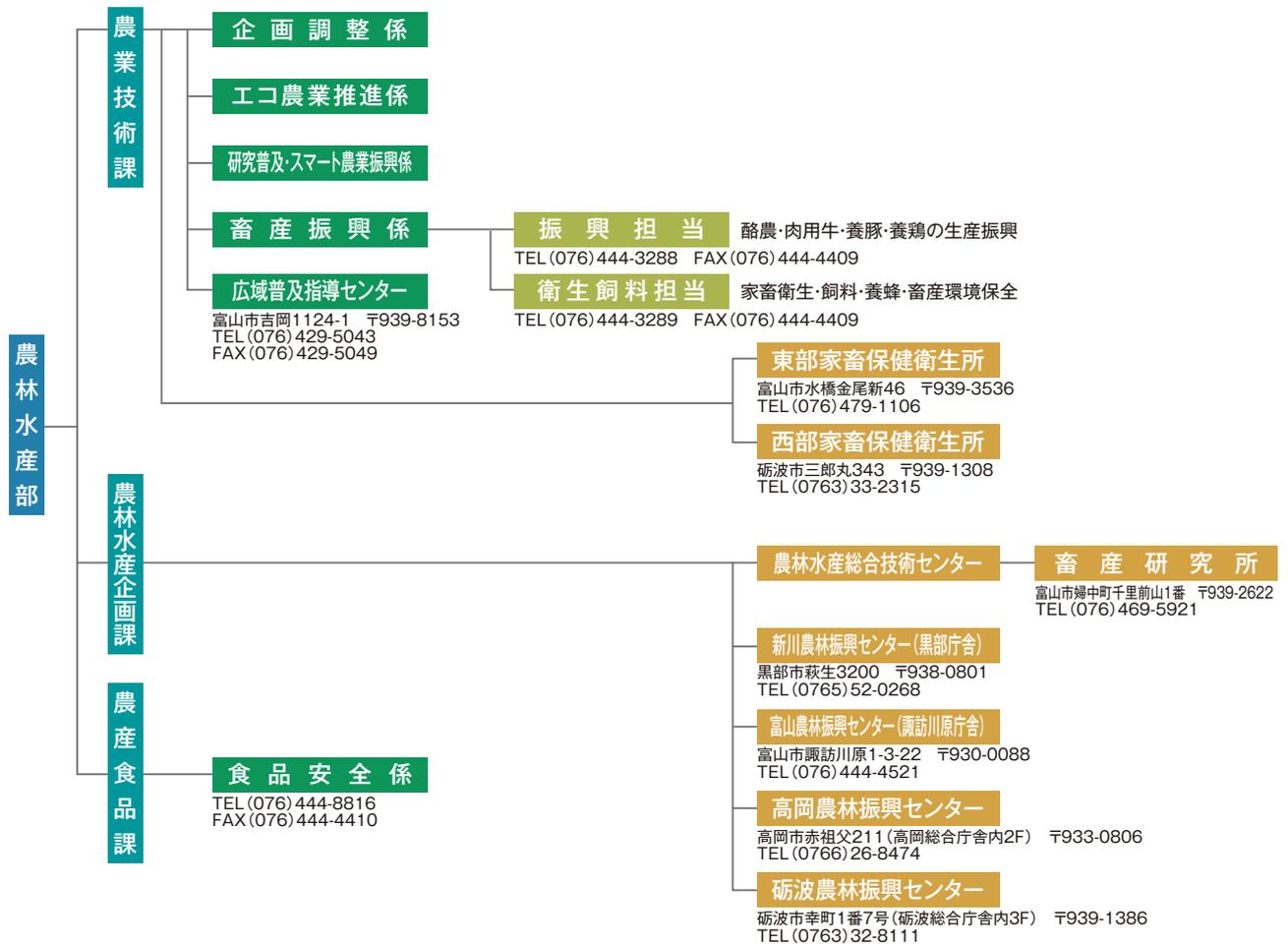
(2) 1世帯当たり年間の畜産物消費量(令和6年)



「家計調査」対象:都道府県庁所在地(47カ所)
 全国平均、最高都市、最低都市との比較を示す
 (注) 二人以上の世帯

VI 組織

(1) 行政組織図



(2) 主な関係団体

公益社団法人 富山県農林水産公社

富山市舟橋北町4-19 〒930-0096
TEL (076) 441-7397

公益社団法人 富山県畜産振興協会

富山市手屋三丁目10番15号 獣医畜産会館内 〒930-0901
TEL (076) 451-0117 (代表)

全国農業協同組合連合会 富山県本部 畜産部

射水市新堀28-4 〒934-0035
TEL (0766) 86-3700

公益社団法人 富山県獣医師会

富山市手屋三丁目10番15号 獣医畜産会館内 〒930-0901
TEL (076) 451-0120

一般社団法人 北陸配合飼料価格安定基金協会

金沢市古府1丁目197番地 石川県農林会館3階 〒920-0362
TEL (076) 259-6234

株式会社 富山食肉総合センター

射水市新堀28-4 〒934-0035
TEL (0766) 86-3600 (代表)

富山県乳牛協会(事務局)

富山県養鶏協会(事務局)

富山県養蜂協会(事務局)

富山県肉用牛協会(事務局)

富山県養豚組合連合会(事務局)





農林水産部 農業技術課

〒930-0004 富山市桜橋通り5番13号
富山興銀ビル10階

TEL (076) 444-3288 (直通：畜産振興係) FAX (076) 444-4409

TEL (076) 431-4111 (代表：本庁舎)

https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1612/

本庁舎所在地：〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

※本庁舎宛でも郵便物は届きます。